

# チーム 袖ヶ浦

公民館報/ チーム袖ヶ浦

発行/ 袖ヶ浦公民館

指定管理者 株式会社オーエンス

習志野市袖ヶ浦2丁目5番1号

TEL 047-451-6776 FAX 047-451-6284

HP <https://www.narashino-kominkan.jp/sodegaura-kominkan/>

## 袖ヶ浦文化、撩乱

館長 鈴木 昭仁

会期中の来館者数は1,137名を数え、昨年度比で430名増。9月29日から10月1日まで開催された市民文化祭は、連日会場に多くの方が足を運んでくださり盛況のうちに終わりました。

この背景には、会員が有する地域とのネットワークや目を引くポスターのデザインに、文化祭への期待感を抱かせたと推察します。

来館者はそれぞれのサークルが持ち味をいかんなく披露した作品や実演の鑑賞を通して、袖ヶ浦文化を享受し、満足されたようです。開催直前にはサークル以外の一般参加団体も加わったことで多様性のあるものになりました。

今年度、事務局として注力したことは、①体験コーナーの設置、②安心して鑑賞できる収容人数の設定（昨年度比15名増）、③広報活動の充実の3点。さて、どれほど文化祭に寄与できたのか。今後、アンケート結果を分析し次年度の計画に役立ててまいります。

最後になりましたが企画運営にご尽力された袖ヶ浦公民館サークル連絡・団体協議会 三矢本会長をはじめ会員のみなさま、そしてすべての来館者に感謝申し上げます。

表題は第1回文化祭（1981年）の記念碑「文化撩乱」から引用したことを添えておきます。



## 公民館職員の**市民文化祭めぐり**

袖ヶ浦公民館や地域で活動しているサークル・団体が日ごろの成果を実演、展示しました。  
公民館職員も実演や展示で開催された体験コーナーに参加してみました。

**実演部門**はプアマエオレフラ袖ヶ浦のフラダンスから始まりました。3着のカラフルな衣装がとても舞台に映えていました。健康太極拳は八段錦を体験しました。「調心、調息、調身」私の心も体も整いました。



また、15JAM、MKKmusic、習志野スウィングソサエティの演奏はプロ級!!毎日ライブハウスに来ている気分でした。2階の和室では、気功サークルの施術で、サークル・団体連絡協議会 会長もすっきりしていました。シャクヤクの会は1本の帯がこんな素敵になるなんて、驚きました。R&N 団のおはなし会は、会場いっぱいの人で熱気に包まれていました。(坂井 つる代)



2日目のパパラププル同好会のコーラスは、知っている歌も多く、出演者も来場者もとっても楽しそうでした。ジャズダンスストライは27回目(コロナがなければ30回!)の文化祭参加!!そして面白い話し方の会は今回が最後の文化祭になりました。

3日目の袖ヶ浦拳友会は気合の音が公民館に響き渡りました。大正琴峰の会はお揃いの衣装とそろった音色がとてもきれいでした。ウクレレハワイアンズと習志野ウクレクラブは、きれいな歌声とウクレレの音色で癒されました。和太鼓そでっ鼓連は、会場全体が盛り上がりました。





## 展示部門「編み物体験」

私は、サークル毛糸玉とひまわりが行っている編み物体験コーナーに参加しました。

今回は、かぎ針編みで「アクリルたわし」を作ります。緊張している私を、サークルの皆さんは「はじめてでも大丈夫」と励ましていただきました。

早速、黄緑の毛糸を選び編み始めますが、持ち方から悪戦苦闘しました。何度もお手本を見せてもらい、やっと完成しました。いくつかミスはありましたが、はじめて編んだアクリルたわしに大満足です。

丁寧に教えてくださったサークル毛糸玉とひまわりの皆さんありがとうございました。また体験があれば再チャレンジしたいと思いました。(池内 愛実)



仏像彫刻「施無畏の会」体験コーナー



地区学習圏会議のどんぐり工作



袖ヶ浦こども園のみなさん  
こども絵画展「わたしの絵だよ！」



第三中学校第2学年職場体験にて作成  
地域のみなさまをお迎えしました。

公民館職員リレーコラム  
「わたしの袖ヶ浦発見！」



第二走者 池田 小百合

袖ヶ浦公民館の隣の公園で、親子が紙飛行機を飛ばして遊んでいました。令和4年度成田国際空港国内・国際線の着陸回数は89,517回とあります。(国土交通省調べ)1日約240機の飛行機がさまざまな人の思いをのせて飛んでいることになります。

今から110年以上前に17歳の伊藤音次郎(以下音次郎)は、ライト兄弟の飛行記録を観て、飛行家になる決心をして上京しました。千葉市稲毛海岸と津田沼町(現習志野市)鷺沼海岸の干潟飛行場を中心に活躍しました。音次郎は、独学で名機と謳われる飛行機を設計し、手作りで制作、その飛行機を自ら操縦して大正5年に往復約65km、55分間の大冒険に成功しました。大正6年、関東地方を襲った大型台風の高潮で稲毛の研究所が倒壊してしまい、大正7年には津田沼町(現習志野市)の鷺沼海岸に研究所を再建します。干潟滑走路は現在の袖ヶ浦地区です。

袖ヶ浦第2号児童遊園に「伊藤飛行機研究所滑走路跡」の説明版があります。私たちが過ごしている袖ヶ浦の地で、音次郎はじめ若い研究員が日本民間航空の発展を願って栄光と挫折の中で飛行機と共に活躍していたことに触れることができます。



今後の公民館講座・事業のご案内

事業名	内容	日にち	対象
西近隣公園もみの木ライトアップ	ライトアップ	12月2日(土)	どなたでも
袖ヶ浦かるた大会	習志野かるたを使った個人戦	12月26日(日)	小学生
大人の教養講座 「郷土料理をつくろう」	郷土料理(全2回)	1月20日(土) 2月3日(土)	成人16名

内容などは変更になる場合がありますので、ご了承ください。  
時間や募集などの詳細は、お問合せまたは袖ヶ浦公民館ホームページをご覧ください。

